

高体連会長メッセージ

県高体連は、コロナ感染状況の今後の動向を注視しつつ、大会を延期して実施するという僅かな可能性に向けての検討も行ってきました。

しかしながら、大会約1ヶ月前の現時点において、新型コロナ終息の兆しは見えず、子どもたちの命と健康を保障する上では、大会期日を延期しての実施も極めて困難であると判断しました。

よって、本日ここに、第47回宮崎県高等学校総合体育大会及び第48回宮崎県高等学校定時制通信制大会を正式に中止とすることを決定いたしました。

〈 選手の皆さんへ 〉

これまで、仲間と共に練習を積み重ねてきた選手の皆さんの気持ちは、察するに余りあるものがあります。

ただ言えることは、これまでチームまたは個人が、それぞれの目標に向かって頑張り努力してきた経験は、これからの皆さんを支える宝物として誰も奪うことは出来ないということです。

私が今、一番心配するのは、大会が中止となったことで、次に進む勇気を失い、君たちが持つ力とエネルギーと時間とを無駄にしてしまうことです。

どうか、心をマイナスからプラスに転換し、今の状況の中で自分は何が出来るのか、プラスに結びつくことをとことん考えてください。そうやって行動の選択肢をたくさんもてば、一つの扉が閉まっても、必ず別の扉が開きます。そう信じています。

〈 教職員及び保護者の皆さんへ 〉

部顧問をはじめとする教職員の皆さんや保護者の皆様におかれては、子どもたちに是非活躍の場をと、子どもたち以上に願われていたことと思います。

また、高校総体を区切りに、次のステップである受験や就職試験に向かう決意を子どもたちとともに固める予定でもあったことと思います。

子どもたちの活動状況を最も近くで見てください、一番理解されている部顧問や保護者の皆さんだからこそ、子どもたちが次なるステップに立ち向かっていけるよう、子どもたちの背中を後押ししていただければと思います。

この状況をどう乗り切るか、今、私たち一人ひとりが試されています。
新型コロナに決して負けることなく、踏んばっていきましょう。

令和2年5月7日

宮崎県高等学校体育連盟 会長 児玉康裕